

## 小児科

### 【一般目標】 GIO

小児の診療を適切に行うことができる医師になるために、小児および小児疾患の特性を理解し、小児疾患の診療や小児保健にかかわる基本的な能力と態度を身につける。

### 【行動目標】 SBO

1. 保護者から適切な情報を得、良好な人間関係を築くことができる。
2. 小児・新生児の診察が適切に実施できる。
3. 小児の発育・発達を理解できる。
4. 小児（特に乳幼児）の採血・検査・血管確保などの処置ができる。
5. 病態に応じた適切な栄養管理ができる。
6. 小児の薬用量を理解し、処方が適切に実施できる。
7. 伝染性疾患に対する知識を身につけ、感染予防策の指導や実施ができる。
8. 予防接種や定期健康診断など、保健活動について説明できる。
9. 診療録に適切に記載ができる。

### 【方略】 LS

1. 担当医として入院患者を受け持つ。主治医（上級医）の指導のもとで問診や身体診察や検査データの把握を行い、治療計画の立案に参加する。毎日担当患者の回診を行ない、指導医と方針を相談する。
2. NICUでは、上級医とともに回診を行い、新生児医療の特殊性を理解する。産科新生児室の回診につき、正常新生児の診察が出来るようにする。
3. 採血や点滴血管確保、エコーなど小児に対する診療手技を行う。
4. 指導医または上級医の診察につき、診察の方法や検査の適応、薬物療法について学ぶ。
5. 家族から患者の情報を得たり、家族に病状の説明をしたりする方法を習得する。
6. 上級医の指導のもとで乳児健診や予防接種の実際について学ぶ。
7. 小児でよく見られる症状（発熱・呼吸障害・チアノーゼ・嘔吐・下痢・痙攣）に適切に対応できるよう救急外来の一次診療を行う。

### 【評価】 EV

1. 各指導医がすべての目標項目の到達度を評価する。
2. 評価にあたっては上級医、コメディカルの評価も取り入れる。
3. EPOCを用いて研修医が自己評価したうえで指導医が評価する。

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金	土
午前	外来 (担当患者の 回診)	総合 診療科	外来 (担当患者の 回診)	外来 (担当患者の 回診)	外来 (担当患者の 回診)	外来 (担当患者の 回診)
午後	専門外来 (腎臓・内分泌)	総合 診療科	専門外来 (アレルギー)	専門外来 (乳幼児健診)	専門外来 (心臓)	
夕	症例 カンファレンス		症例 カンファレンス		症例 カンファレンス	